

# 令和2年度事業報告

## 1 概要

わが国の65歳以上の高齢者人口は、3,617万人（令和2年9月15日現在推計）と、総人口に占める割合は28.7%と、昨年（28.4%）に比べ0.3ポイント上昇し、過去最高となりました。

少子高齢化が急速に進展する中、人手不足解消の重要な担い手として、高齢者に対する社会の期待が高まっていることから、令和2年度は「**第2次会員100万人達成計画**」に基づき、「**会員拡大**」を最重要課題として取り組んできました。

しかしながら、昨年当初からの新型コロナウイルス感染拡大により、地域経済は大きな打撃を受け、当センターでも会員数や契約金額の減少など大きな影響がありました。

その結果、会員数につきましては、目標会員数の1,402人に対して1,278人となり、目標会員数には大きく届きませんでした。また、年度当初の会員数1,316人に比べても2.9%の減少になり、非常に厳しい状況になっています。

また、事業実績では、請負・委任事業のうち、主に市役所からの受注は前年度を維持しましたが、一般企業及び個人・家庭からの受注が大きく減少したことから、前年度に比べ40,633千円の減額となりました。派遣事業につきましても1,395千円の減額となりました。よって、請負・委任事業と派遣事業の合算契約金額は529,957,230円となり、前年度に比べ7.3%の減少となりました。

県内の雇用情勢は、求人が求職を上回っている状況ではありますが、新型コロナウイルス感染拡大は未だ収束に向かっておらず、当センターへの仕事の依頼も職種により偏りがあるものの、全体的に減少しています。しばらくは会員数、契約金額とも厳しい状況が続くものと思われま

次に、安全就業につきましては、傷害事故は2件、賠償事故は3件発生しており、前年に比べ大幅に減少しました。

安全就業はシルバー人材センター事業の基本であり、全会員が「**安全はすべてに優先する**」を強く自覚し、今まで以上に、会員と安全衛生委員会、安全就業推進員が一体となって、傷害事故及び賠償事故撲滅を目指し、より一層積極的に取り組む必要があります。

## 2 事務事業の実施状況

### (1) 会員の動向

令和2年度末の会員数は、前年度に比べ38人減の1,278人になりました。

この内訳は、162人の方が新たに入会されましたが、退会された方が200人となっています。そのなかで会員の紹介により32人の入会者がありました。

新型コロナウイルス感染拡大のため直接市民と触れ合う機会が出来なかったため、会員増強対策はメディアを活用した会員募集広告を中心に実施しました。

「広報うべ」への入会説明会の案内や「サンデージョブ」への会員募集広告の掲載、FMきららのCM放送及び宇部郵便局ロビーでのCM放送などPR活動を実施しました。一人でも多くの方が入会され、就業の場を通じて地域社会への貢献と、自らの健康づくりや生きがいの充実を求めていると考えています。

### (2) 事業実績

令和2年度の請負・委託事業と派遣事業を合わせた受注件数は4,855件、契約金額は前年度に比べ7.3%減の529,957,230円となりました。また、就業実人員は973人、就業延べ人員は95,231人となり、就業率につきましては76.1%となりました。

契約金額につきましては、公共事業からの受注は前年度を維持しましたが、個人・家庭や民間企業からの受注が新型コロナウイルス感染拡大の影響で低調だったことから大きく落ち込みました。

なお、新規事業として女性委員会によるマスクの縫製・販売を行いました。また、会員の紹介により16件の新規就業獲得がありました。

### (3) 普及啓発活動

地域社会に広くご理解とご支援を得るため、会員による就業先での就業開拓や会員募集の普及啓発に努めました。今年度は宇部まつりや市内で開催予定だったイベントが中止になったため、ボランティア活動は低調でした。また、地域班による清掃作業等のボランティア活動も自粛したため37人の会員が参加するに止まりました。

今後も会員の増強と就業機会の拡大を図るため、会員の口コミによる入会勧誘や就業先での業務紹介など、会員、役員、職員が積極的な普及啓発活動を推進する必要があります。

#### **(4) 安全就業の確保**

傷害事故の発生件数は昨年度より 5 件減少し、2 件発生しています。発生状況は就業中が 1 件となっています。また、賠償事故は昨年度より 9 件減少し、3 件発生しています。傷害事故、賠償事故とも大きく減少しました。

毎月、安全衛生委員会による就業先への安全パトロールを実施しているところですが、会員一人ひとりが細心の注意と自覚をもって、作業の安全第一を心がけるよう指導するとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止対策にも努めました。

#### **(5) 会員組織活動の状況**

センター事業の運営に多くの会員の意見や要望を反映させるため、12 地域で組織されている地域班で毎年会議を開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止を余儀なくされましたが、それぞれの地域班で役員のみでの会議は実施しました。

また、職群班は技術向上と班員相互の親睦を図るため、役員会議や講習会が開催されています。

今年度の会員組織活動は大人数での会議は自粛し、少人数での役員会を中心に実施しました。

#### **(6) 会員の福利厚生**

毎年実施している「会員のつどい」や「親睦旅行」は中止しました。